

積立保険の予定利率リスク

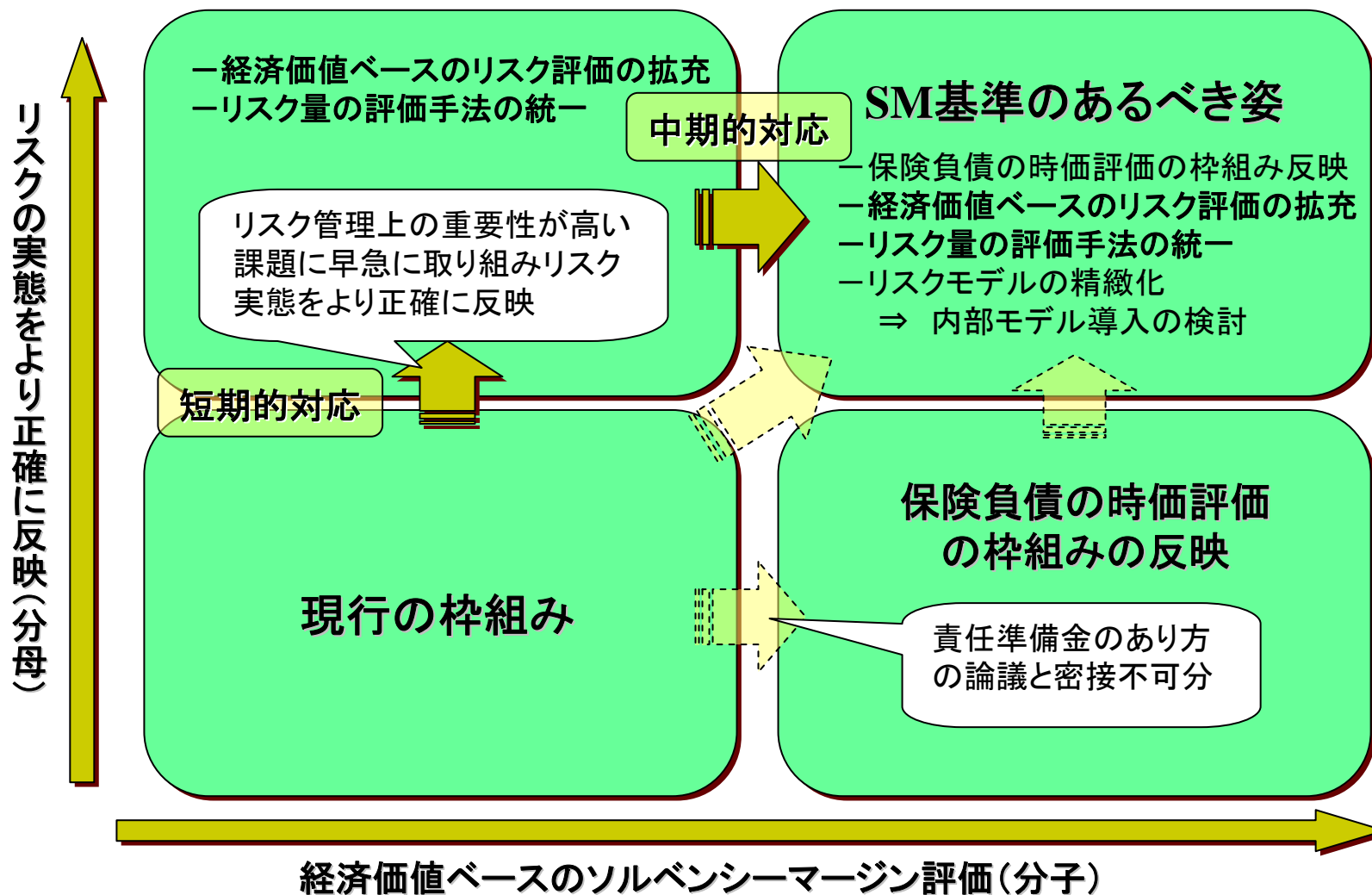
東京海上日動火災保険株式会社
経理部課長 田口 茂

2007年2月9日

SM基準のあるべき姿 (12月19日資料再出)

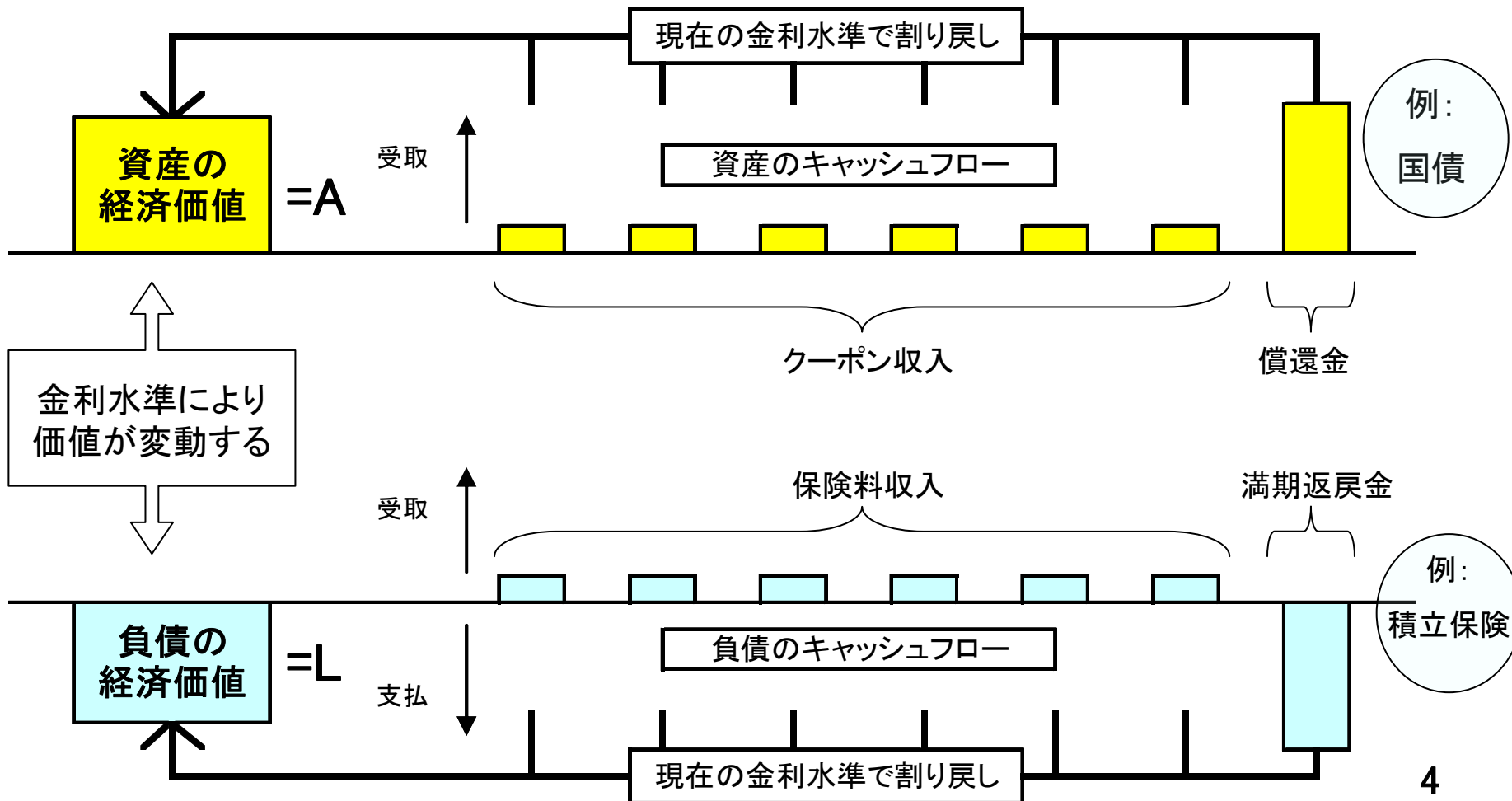
- 個々の保険会社の財務状態とリスク実態をより正確に反映すべき。
 - SM基準： 早期是正措置の発動基準、保険会社のリスク管理のスタンダード
⇒ 保険会社のリスク管理体制の整備を促す効果
 - 財務状態とリスク実態をより適正に反映
⇒ わが国保険マーケットにおけるリスク評価・管理のレベル向上
⇒ 良質な保険サービスの安定的な供給

短期的対応 (12月19日資料再出)



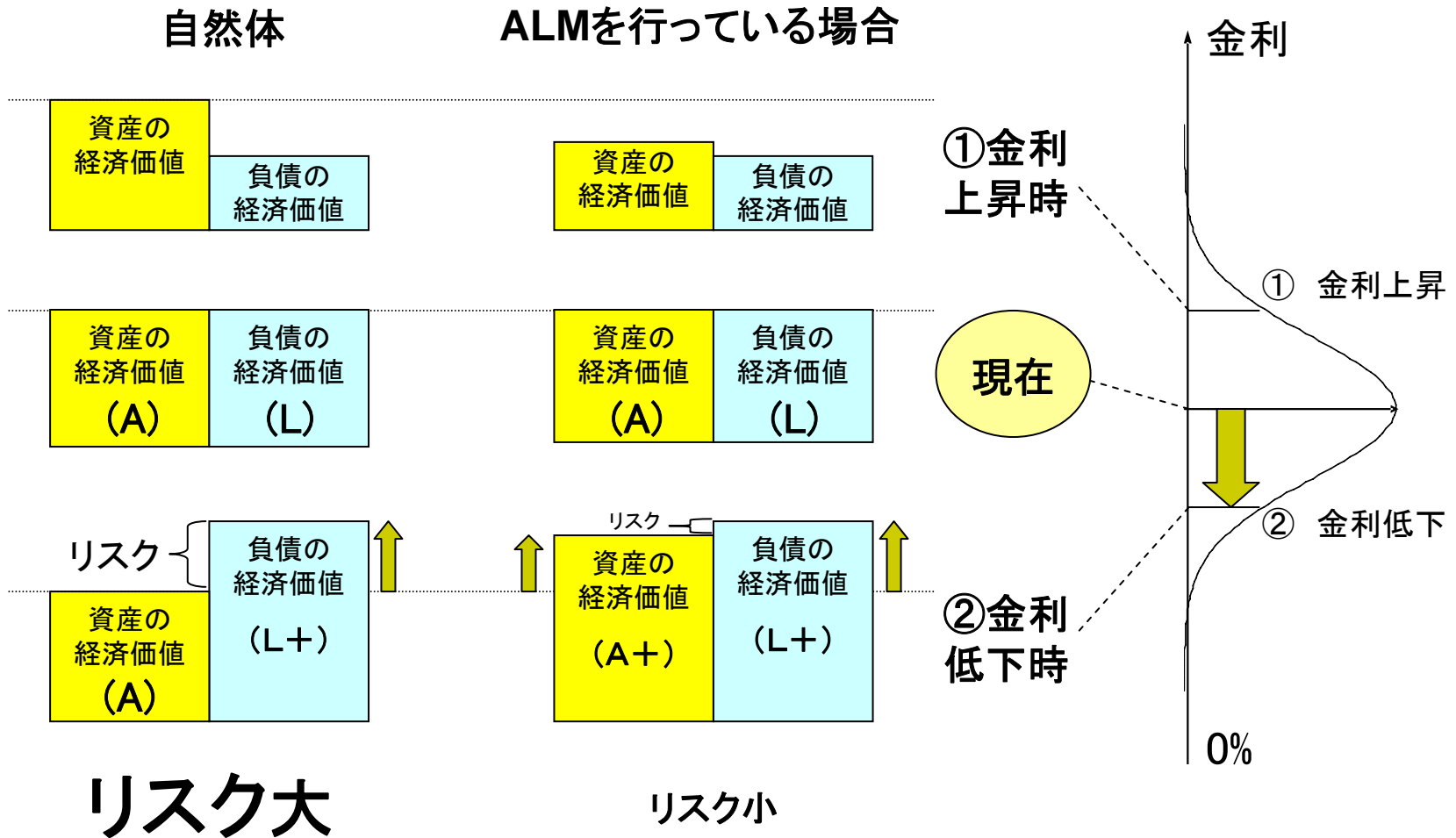
(図1) 経済価値ベースの評価

- 資産の経済価値＝将来キャッシュフロー(正味の受取)の現在価値。
- 負債の経済価値＝将来キャッシュフロー(正味の支払)の現在価値。
- 金利が変動すると資産・負債の経済価値はそれぞれ変化する。



(図2) 金利の変動と経済価値ベース評価の変動

- 金利が所与の水準低下した場合の負債の経済価値の変化額＝(本来的な) 予定利率リスク
- 負債特性に応じた資産で運用すること(ALM)により、正味ベースで見た予定利率リスクは小さくなる→ヘッジ効果の存在



積立保険の予定利率リスク (12月19日資料再出)

- 現行の予定利率リスク：ヘッジの効果を考慮せず別個独立にリスク量を算出
 - 負債に関する予定利率リスク
 - ヘッジ効果を有する現物資産に関する価格変動等リスク
 - ヘッジ効果を有するデリバティブに関するデリバティブ取引リスク
- 経済価値ベースのリスク評価を拡充する。
 - ヘッジ効果による金利感応度の低減を反映
 - ヘッジ効果を価格変動等リスク、デリバティブ取引リスク、および予定利率リスクから効果に応じて控除

積立保険の予定利率リスク (12月19日資料再出)

- 短期的対応： 金利の要素を反映して、下記の標準フォーミュラで計算してみてもうか？
 - 責任準備金の予定利率を期末の国債利回り等に洗い替える。
 - 洗替後残高の金利感応度により予定利率リスクを算定する。
 - 現物資産・デリバティブによるヘッジ効果を適切に反映する。
⇒ 予定利率をヘッジする効果のある現物資産、デリバティブについては、価格変動等リスク、デリバティブ取引リスクを予定利率リスクの評価に連関させる。